基準日：　2025年5月30日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

【商品分類】 追加型投信／内外／資産複合　　【設定日】 2000年7月31日　　【決算日】 原則7月15日

運用実績

ハッピーエイジング20

基準価額および純資産総額

基準価額	29,412円
純資産総額	301.22億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

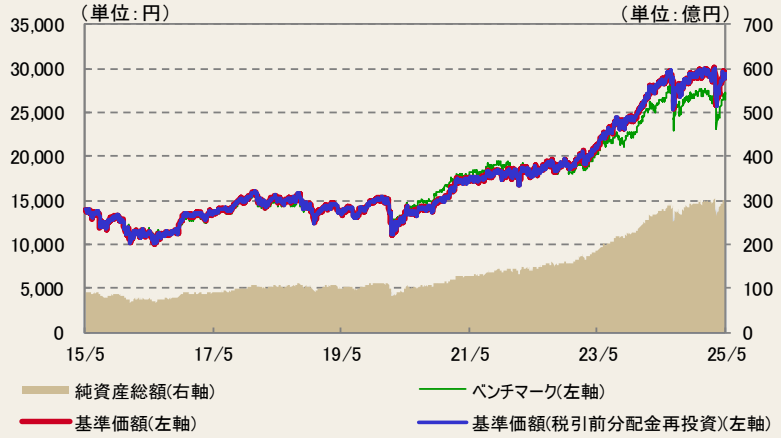
期間別騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	3.69%	5.27%	−1.59%
過去3ヵ月間	1.17%	1.98%	−0.81%
過去6ヵ月間	1.35%	1.67%	−0.32%
過去1年間	2.70%	2.57%	0.13%
過去3年間	60.70%	45.59%	15.12%
過去5年間	117.22%	93.99%	23.23%
設定来	194.12%	197.45%	−3.33%

※　ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※　設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

基準価額・純資産の推移

2015/05/29～2025/05/30



※ 基準価額（税引前分配金再投資）は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものとして計算しております（以下同じ）。
※ 基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）の計算において信託報酬（後掲「ファンドの費用」参照）は控除されております（以下同じ）。
※ ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額（税引前分配金再投資）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）のグラフが重なって表示される場合があります。

分配実績（直近5期分／1万口当たり、税引前）

2020年07月	0円
2021年07月	0円
2022年07月	0円
2023年07月	0円
2024年07月	0円
設定来累計	0円

※　収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

構成比率

	純資産比
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	32.78%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	26.24%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	26.06%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	5.97%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	4.81%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	1.99%
コール・ローン等	2.15%

基準日： 2025年5月30日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

運用実績　　ハッピーエイジング30

基準価額および純資産総額

基準価額	25,975円
純資産総額	284.78億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

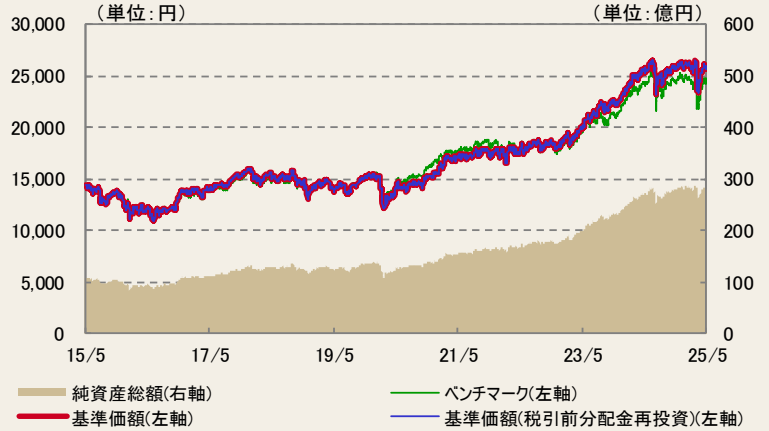
期間別騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	2.73%	4.01%	−1.27%
過去3ヵ月間	1.21%	1.75%	−0.54%
過去6ヵ月間	1.22%	1.41%	−0.18%
過去1年間	1.33%	1.71%	−0.38%
過去3年間	46.19%	36.18%	10.01%
過去5年間	84.73%	70.40%	14.33%
設定来	159.75%	174.50%	−14.75%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

基準価額・純資産の推移

2015/05/29～2025/05/30



※ 基準価額（税引前分配金再投資）は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものとして計算しております（以下同じ）。
※ 基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）の計算において信託報酬（後掲「ファンドの費用」参照）は控除されております（以下同じ）。
※ ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額（税引前分配金再投資）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）のグラフが重なって表示される場合があります。

分配実績（直近5期分／1万口当たり、税引前）

2020年07月	0円
2021年07月	0円
2022年07月	0円
2023年07月	0円
2024年07月	0円
設定来累計	0円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

構成比率

	純資産比
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	22.22%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	22.07%
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	20.88%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	19.92%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	7.96%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	4.71%
コール・ローン等	2.24%

基準日： 2025年5月30日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

運用実績　　ハッピーエイジング40

基準価額および純資産総額

基準価額	21,218円
純資産総額	305.91億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

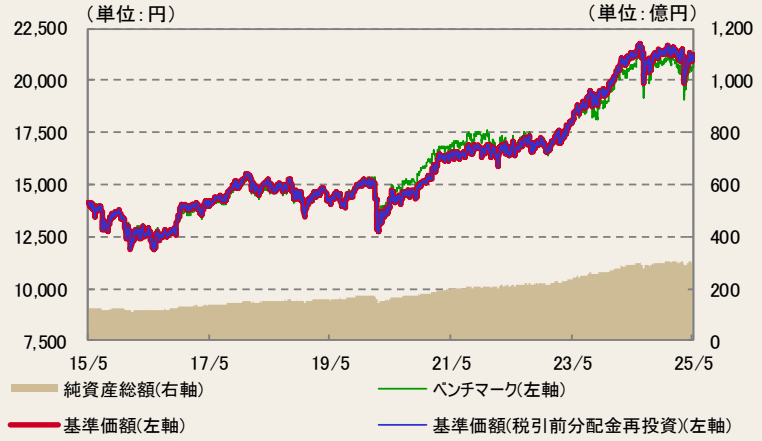
期間別騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	1.56%	2.51%	−0.95%
過去3ヵ月間	0.38%	0.93%	−0.54%
過去6ヵ月間	0.01%	0.34%	−0.33%
過去1年間	−0.03%	0.79%	−0.82%
過去3年間	27.13%	22.13%	5.00%
過去5年間	49.15%	42.82%	6.32%
設定来	112.18%	133.27%	−21.09%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

基準価額・純資産の推移

2015/05/29～2025/05/30



※ 基準価額（税引前分配金再投資）は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものとして計算しております。（以下同じ）。
※ 基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）の計算において信託報酬（後掲「ファンドの費用」参照）は控除されております（以下同じ）。
※ ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額（税引前分配金再投資）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）のグラフが重なって表示される場合があります。

分配実績（直近5期分／1万口当たり、税引前）

2020年07月	0円
2021年07月	0円
2022年07月	0円
2023年07月	0円
2024年07月	0円
設定来累計	0円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

構成比率

	純資産比
損保ジャパン日本債券マザーファンド	32.90%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	15.69%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	15.58%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	14.97%
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	13.95%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	4.74%
コール・ローン等	2.18%

基準日： 2025年5月30日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

運用実績

ハッピーエイジング50

基準価額および純資産総額

基準価額	16,875円
純資産総額	124.32億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

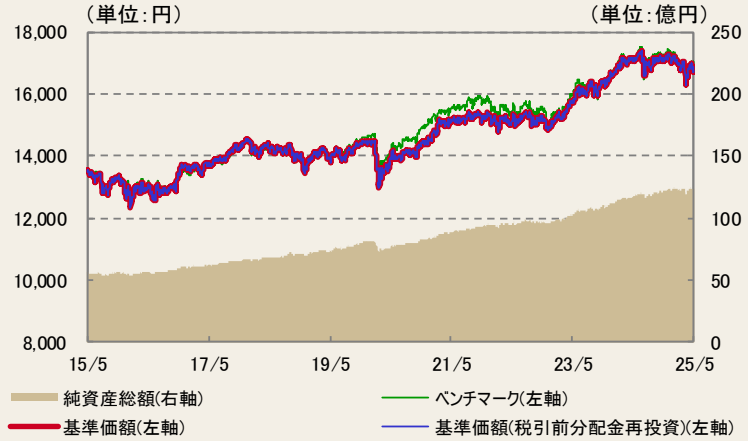
期間別騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	0.37%	1.02%	−0.64%
過去3ヵ月間	−0.43%	0.03%	−0.46%
過去6ヵ月間	−1.20%	−0.88%	−0.32%
過去1年間	−1.30%	−0.40%	−0.90%
過去3年間	11.35%	9.68%	1.67%
過去5年間	21.19%	19.77%	1.43%
設定来	68.75%	91.88%	−23.13%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

基準価額・純資産の推移

2015/05/29～2025/05/30



※ 基準価額（税引前分配金再投資）は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものとして計算しております（以下同じ）。
※ 基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）の計算において信託報酬（後掲「ファンドの費用」参照）は控除されております（以下同じ）。
※ ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額（税引前分配金再投資）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）のグラフが重なって表示される場合があります。

分配実績（直近5期分／1万口当たり、税引前）

2020年07月	0円
2021年07月	0円
2022年07月	0円
2023年07月	0円
2024年07月	0円
設定来累計	0円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

構成比率

	純資産比
損保ジャパン日本債券マザーファンド	56.90%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	10.99%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	9.63%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	9.56%
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	7.98%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	3.08%
コール・ローン等	1.86%

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

運用実績

ハッピーエイジング60

基準価額および純資産総額

基準価額	13,131円
純資産総額	56.37億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

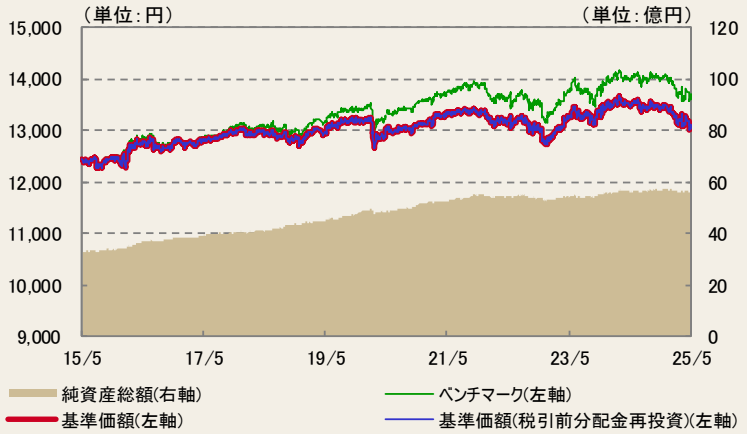
期間別騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	−0.69%	−0.31%	−0.38%
過去3ヵ月間	−1.03%	−0.79%	−0.24%
過去6ヵ月間	−2.19%	−2.00%	−0.19%
過去1年間	−2.47%	−1.71%	−0.76%
過去3年間	−0.45%	0.39%	−0.85%
過去5年間	0.99%	2.89%	−1.90%
設定来	31.31%	57.01%	−25.70%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

基準価額・純資産の推移

2015/05/29～2025/05/30



※ 基準価額（税引前分配金再投資）は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものとして計算しております（以下同じ）。
※ 基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）の計算において信託報酬（後掲「ファンドの費用」参照）は控除されております（以下同じ）。
※ ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額（税引前分配金再投資）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）のグラフが重なって表示される場合があります。

分配実績（直近5期分／1万口当たり、税引前）

2020年07月	0円
2021年07月	0円
2022年07月	0円
2023年07月	0円
2024年07月	0円
設定来累計	0円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

構成比率

	純資産比
損保ジャパン日本債券マザーファンド	71.93%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	16.01%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	4.06%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	4.03%
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	2.00%
コール・ローン等	1.97%

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

主要な資産の状況①：SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド

◆ファンドとTOPIXの騰落率

	当ファンド	TOPIX	差
過去1ヵ月間	3.81%	5.03%	−1.22%
過去3ヵ月間	4.99%	4.45%	0.53%
過去6ヵ月間	7.36%	4.51%	2.85%
過去1年間	4.14%	1.05%	3.09%
過去3年間（年率）	20.59%	13.57%	7.03%
過去5年間（年率）	20.31%	12.37%	7.94%
設定来（累積）	305.77%	70.07%	235.70%
設定来（年率）	7.55%	2.80%	4.75%

※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。
※ 当ファンドのベンチマークは Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）ですが、ハッピーエイジング・ファンドにおいて国内株式のベンチマークをTOPIXとしているため、当ファンドにおいてもTOPIXと比較しております。
当ファンドの直近の計算期間におけるベンチマークとの比較は、運用報告書（全体版）をご参照ください。

◆基準価額の推移グラフ

（単位：円） 2015/05/29～2025/05/30 （単位：億円）

※ TOPIX（東証株価指数）の推移は、表示期間の期首の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 当ファンドのベンチマークは Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）ですが、ハッピーエイジング・ファンドにおいて国内株式のベンチマークをTOPIXとしているため、当ファンドにおいてもTOPIXと比較しております。
当ファンドの直近の計算期間におけるベンチマークとの比較は、運用報告書（全体版）をご参照ください。

構成比率（マザーファンド）

	純資産比
株式	97.91%
コール・ローン等	2.09%

業種別構成比率（マザーファンド）

業種	純資産比
銀行業	18.9%
電気機器	15.5%
陸運業	8.5%
輸送用機器	8.1%
化学	7.8%
機械	7.4%
食料品	5.1%
情報・通信業	4.0%
不動産業	3.6%
その他	19.0%

組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	業種	純資産比
1	八十二銀行	銀行業	4.7%
2	日本電信電話	情報・通信業	4.0%
3	旭化成	化学	4.0%
4	三井住友トラストグループ	銀行業	3.6%
5	太陽誘電	電気機器	3.6%
6	三菱地所	不動産業	3.6%
7	王子ホールディングス	パルプ・紙	3.4%
8	本田技研工業	輸送用機器	3.3%
9	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.2%
10	NIPPON EXPRESSホールディン	陸運業	3.2%
		組入銘柄数	45銘柄

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

主要な資産の状況② ：SJAMスモールキャップ・マザーファンド

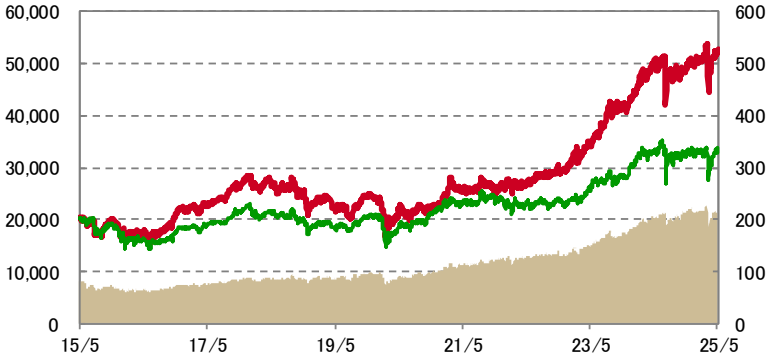
◆ファンドとTOPIXの騰落率

	当ファンド	TOPIX	差
過去1ヵ月間	2.10%	5.03%	−2.93%
過去3ヵ月間	4.68%	4.45%	0.23%
過去6ヵ月間	7.75%	4.51%	3.25%
過去1年間	3.70%	1.05%	2.66%
過去3年間（年率）	25.39%	13.57%	11.82%
過去5年間（年率）	19.23%	12.37%	6.86%
設定来（累積）	427.21%	79.93%	347.28%
設定来（年率）	9.82%	3.37%	6.46%

※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。
※ 当ファンドのベンチマークは Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）ですが、ハッピーエイジング・ファンドにおいて国内株式のベンチマークをTOPIXとしているため、当ファンドにおいてもTOPIXと比較しております。
当ファンドの直近の計算期間におけるベンチマークとの比較は、運用報告書（全体版）をご参照ください。

◆基準価額の推移グラフ

（単位：円） 2015/05/29～2025/05/30 （単位：億円）



マザーファンド純資産総額(右軸) マザーファンド基準価額(左軸) TOPIX(左軸)

※ TOPIX（東証株価指数）の推移は、表示期間の期首の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 当ファンドのベンチマークは Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）ですが、ハッピーエイジング・ファンドにおいて国内株式のベンチマークをTOPIXとしているため、当ファンドにおいてもTOPIXと比較しております。
当ファンドの直近の計算期間におけるベンチマークとの比較は、運用報告書（全体版）をご参照ください。

構成比率（マザーファンド）

	純資産比
株式	96.58%
コール・ローン等	3.42%

業種別構成比率（マザーファンド）

業種	純資産比
銀行業	19.1%
電気機器	10.9%
小売業	10.0%
機械	9.9%
化学	9.9%
サービス業	9.4%
輸送用機器	7.5%
卸売業	7.1%
パルプ・紙	3.6%
その他	9.2%

組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	業種	純資産比
1	ジェイテクト	機械	3.9%
2	豊田合成	輸送用機器	3.7%
3	第四北越フィナンシャルグループ	銀行業	3.7%
4	トヨタ紡織	輸送用機器	3.6%
5	日本M＆Aセンターホールディングス	サービス業	3.3%
6	西日本フィナンシャルホールディングス	銀行業	3.2%
7	ちゅうぎんフィナンシャルグループ	銀行業	3.0%
8	北洋銀行	銀行業	2.9%
9	マブチモーター	電気機器	2.8%
10	ケーズホールディングス	小売業	2.7%
		組入銘柄数	81銘柄

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

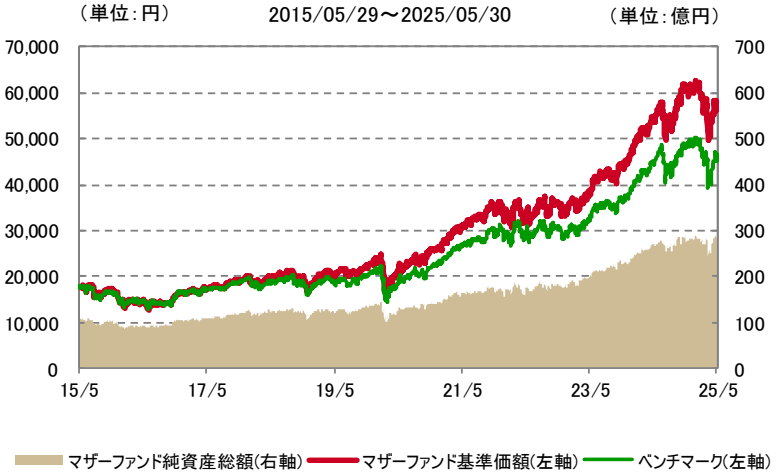
主要な資産の状況③ ：損保ジャパン-TCW外国株式マザーファンド

◆ファンドとベンチマークの騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	5.86%	6.92%	-1.05%
過去3ヵ月間	-3.16%	-1.65%	-1.50%
過去6ヵ月間	-5.36%	-3.11%	-2.25%
過去1年間	6.33%	3.77%	2.56%
過去3年間（年率）	18.97%	15.63%	3.33%
過去5年間（年率）	21.81%	19.70%	2.11%
設定来（累積）	471.24%	308.19%	163.05%
設定来（年率）	6.93%	5.56%	1.37%

※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

◆基準価額の推移グラフ



※ ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、表示期間の期首の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

構成比率（マザーファンド）

	純資産比
株式	93.57%
投資証券等	3.47%
コール・ローン等	2.96%

業種別構成比率（マザーファンド）

業種	純資産比
情報技術	21.7%
金融	20.7%
資本財・サービス	19.0%
一般消費財・サービス	8.6%
ヘルスケア	7.0%
コミュニケーション・サービス	4.6%
不動産	4.2%
素材	3.9%
生活必需品	3.6%
その他	3.7%

組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	通貨	発行国/地域	業種	純資産比
1	MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	アメリカ	情報技術	4.0%
2	HEICO CORP	アメリカ・ドル	アメリカ	資本財・サービス	3.2%
3	GE AEROSPACE	アメリカ・ドル	アメリカ	資本財・サービス	3.1%
4	WASTE CONNECTIONS INC	アメリカ・ドル	アメリカ	資本財・サービス	3.0%
5	FISERV INC	アメリカ・ドル	アメリカ	金融	2.7%
6	NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	アメリカ	情報技術	2.3%
7	VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカ・ドル	アメリカ	金融	2.2%
8	S&P GLOBAL INC	アメリカ・ドル	アメリカ	金融	2.1%
9	MASTERCARD INC-CLASS A	アメリカ・ドル	アメリカ	金融	2.0%
10	TRANSDIGM GROUP INC	アメリカ・ドル	アメリカ	資本財・サービス	2.0%
				組入銘柄数	266銘柄

基準日： 2025年5月30日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

主要な資産の状況④ ：損保ジャパン日本債券マザーファンド

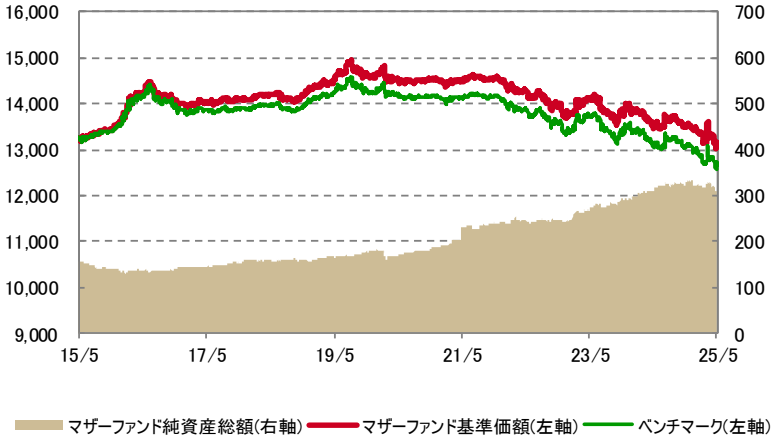
◆ファンドとベンチマークの騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	−1.48%	−1.29%	−0.19%
過去3ヵ月間	−1.74%	−1.68%	−0.06%
過去6ヵ月間	−2.98%	−3.16%	0.18%
過去1年間	−2.55%	−2.76%	0.21%
過去3年間（年率）	−2.76%	−2.97%	0.21%
過去5年間（年率）	−1.99%	−2.23%	0.25%
設定来（累積）	31.31%	26.32%	4.99%
設定来（年率）	1.10%	0.94%	0.16%

※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

◆基準価額の推移グラフ

（単位：円） 2015/05/29～2025/05/30 （単位：億円）



※ ベンチマーク（NOMURA-BPI 総合）の推移は、表示期間の期首の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

構成比率（マザーファンド）

	純資産比
公社債	96.13%
コール・ローン等	3.87%

種類別構成比率（マザーファンド）

種類	純資産比
国債証券	69.6%
社債券	24.9%
特殊債券	1.3%
地方債証券	0.3%

ポートフォリオの状況（マザーファンド）

平均残存期間（年）	9.8
修正デュレーション（年）	8.8

組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	種類	償還日	純資産比
1	第376回利付国債（10年）	国債証券	2034/9/20	7.3%
2	第369回利付国債（10年）	国債証券	2032/12/20	6.4%
3	第178回利付国債（5年）	国債証券	2030/3/20	3.5%
4	第160回利付国債（20年）	国債証券	2037/3/20	3.4%
5	第154回利付国債（20年）	国債証券	2035/9/20	2.7%
6	第183回利付国債（20年）	国債証券	2042/12/20	2.4%
7	第191回利付国債（20年）	国債証券	2044/12/20	2.1%
8	第170回利付国債（20年）	国債証券	2039/9/20	2.0%
9	第176回利付国債（20年）	国債証券	2041/3/20	2.0%
10	第465回利付国債（2年）	国債証券	2026/10/1	1.9%
		組入銘柄数		110銘柄

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

主要な資産の状況⑤ ：損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド

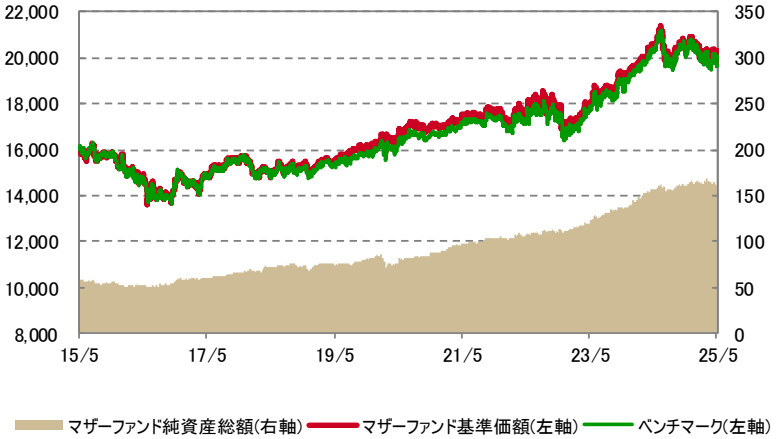
◆ファンドとベンチマークの騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	0.56%	0.47%	0.09%
過去3ヵ月間	0.41%	−0.30%	0.71%
過去6ヵ月間	−0.88%	−1.13%	0.25%
過去1年間	−1.69%	−1.85%	0.16%
過去3年間（年率）	4.42%	4.74%	−0.32%
過去5年間（年率）	3.94%	4.22%	−0.28%
設定来（累積）	101.26%	99.86%	1.40%
設定来（年率）	3.62%	3.58%	0.04%

※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

◆基準価額の推移グラフ

（単位：円） 2015/05/29～2025/05/30 （単位：億円）



※ ベンチマーク（FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））の推移は、表示期間の期首の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

構成比率（マザーファンド）

	純資産比
公社債	95.84%
国債証券	95.84%
コール・ローン等	4.16%

ポートフォリオの状況（マザーファンド）

平均残存期間（年）	9.4
修正デュレーション（年）	6.9

組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	発行国	種類	通貨	償還日	純資産比
1	Treasury 4.5 290531	アメリカ	国債証券	アメリカ・ドル	2029/05/31	9.6%
2	Treasury 4.875 260531	アメリカ	国債証券	アメリカ・ドル	2026/05/31	6.0%
3	Treasury 4.625 310531	アメリカ	国債証券	アメリカ・ドル	2031/05/31	5.4%
4	FRANCE 2.0 321125	フランス	国債証券	ユーロ	2032/11/25	3.9%
5	Treasury 2.75 280215	アメリカ	国債証券	アメリカ・ドル	2028/02/15	3.5%
6	Treasury 4.625 350215	アメリカ	国債証券	アメリカ・ドル	2035/02/15	3.5%
7	MEXICO 8.5 290301	メキシコ	国債証券	メキシコ・ペソ	2029/03/01	2.2%
8	GERMANY 1.7 320815	ドイツ	国債証券	ユーロ	2032/08/15	2.1%
9	NORWAY 1.375 300819	ノルウェー	国債証券	ノルウェー・クローネ	2030/08/19	2.0%
10	FRANCE 0.0 291125	フランス	国債証券	ユーロ	2029/11/25	1.8%
				組入銘柄数		156銘柄

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

市場動向

国内株式市場

５ 月の国内株式市場（TOPIX）は月間ベースで+5.03%となりました。トランプ政権による関税政策が軟化するとの期待から上昇しました。中東における大規模データセンター建設の発表を受けて通信ケーブルなどの需要拡大が期待された非鉄金属や国内金利上昇を受けて利ざや拡大が期待された銀行業などが上昇をけん引しました。

月の前半は、米英が 2 国間の貿易協定を締結することに合意したことから、トランプ政権による関税政策への懸念が薄れたことや、日銀の金融政策決定会合、FOMC（米連邦公開市場委員会）においてそれぞれが政策金利を据え置いたことが好感され上昇しました。その後は、米中両政府が相互に課していた追加関税の引き下げで合意したことを好感する場面もあったものの、国内企業の業績予想が保守的だったことなどが重しとなり、一進一退の推移となりました。月の後半は、米国の財政悪化懸念を受けた長期金利の上昇が下押し要因になったものの、米国が EU に対しての関税発動を延期すると発表したことや米エヌビディアの好決算などが好感されて上昇しました。ただし、月末は引き続き米国の関税を巡るニュースに振らされる展開となりました。

外国株式市場

５月の外国株式市場（現地通貨ベース）は上昇しました。月の前半は、トランプ政権による英国との貿易協定の締結や、中国との追加関税の引き下げ合意などから、貿易摩擦による景気悪化への懸念が和らぎ、株価は大きく上昇しました。月の後半は、米国の減税法案が下院を通過したことで財政悪化懸念が高まったことや、トランプ大統領が EU に対する関税を６月１日から 50%へ引き上げるとの考えを示したことから、株価は一時的に調整したものの、米欧首脳の電話会談にて関税の引き上げ時期が ７ 月 ９ 日まで延期されたことを受け、株価は月末にかけて再び上昇しました。

国内債券市場

５月の長期国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

米中の関税引き下げ交渉が進展し、リスク許容度が回復した影響から利回りが上昇しました。一方で、超長期国債の需給懸念から超長期ゾーンの利回りが大幅に上昇する局面があったものの、超長期国債の発行減額期待から、月末にかけて利回り上昇は抑制されました。

外国債券市場

【米国債券市場】

５月の債券利回りは、上昇（価格は下落）しました。

米英の貿易協定合意や米中の大幅関税引き下げにより市場のリスク回避姿勢が後退したことに加えて、米国の大型減税法案などを背景に財政悪化懸念が高まるなか、米国債の格下げや米国債入札の不調を受けて、米国債の需給不安が高まったことなどから、債券利回りは上昇しました。

【欧州債券市場】

５月のドイツ債券利回りは、小幅に上昇（価格は下落）しました。

米欧通商交渉の難航が金利低下圧力となったものの、英国や中国の通商交渉進展を受けて市場のリスク回避姿勢が後退したことや、世界的な債券需給悪化の影響などから、ドイツ債券利回りは小幅に上昇しました。

【英国債券市場】

５月の債券利回りは、上昇（価格は下落）しました。

英国の消費者物価指数や小売売上高が市場予想対比で上振れたことを受けて BOE（イングランド銀行）の利下げ観測が後退したことや、世界的な債券需給悪化の影響などから、英国債券利回りは上昇しました。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

エマージング株式市場

５月のエマージング株式市場（現地通貨ベース）は上昇しました。上旬は、米中貿易協議が開始したことから米中対立への警戒感が後退し、上昇しました。中旬は、米中双方が課していた関税措置が部分的に緩和されるなど、歩み寄りを見せた米中共同声明の内容が好感されたほか、米国の大手 AI 企業がサウジアラビアとの AI プロジェクトを発表したことも材料視され、半導体株主導で一段高となりました。下旬は、中国の自動車産業の競争激化懸念や大手 E コーマス企業の業績不調などを受けて下落しましたが、月間では全体的にプラスとなりました。

外国為替市場

【米ドル円相場】
５月のドル円相場は、円安ドル高となりました。
米国債の格下げや 20 年債入札の不調などを受けた米国の財政悪化懸念がドル売り圧力となったものの、米中が暫定的な関税引き下げに合意し貿易摩擦懸念が後退したことがドル買い圧力となり、円安ドル高となりました。

【ユーロ円相場】
５月のユーロ円相場は、円安ユーロ高となりました。
英国や中国の通商交渉進展を受けて市場のリスク回避姿勢が後退し円が売られたことや、下旬に対欧州への関税発動期限が延期となりユーロが買われたことから、円安ユーロ高となりました。

【英ポンド円相場】
５月のポンド円相場は、円安ポンド高となりました。
英国や中国の通商交渉進展を受けて市場のリスク回避姿勢が後退し円が売られたことや、英国の消費者物価指数や小売売上高が市場予想対比で上振れたことなどを受けて、BOE（イングランド銀行）の利下げ観測が後退したことなどから、円安ポンド高となりました。

【エマージング通貨相場】
５月のエマージング通貨市場は、対円で上昇しました。国ごとによりまちまちの展開となりましたが、米国の通商政策への懸念が後退し市場のリスク選好が回復したことから、全体では上昇しました。与党が付加価値税（VAT）引き上げ計画を撤回したことで与野党対立が緩和したことが好感された南アフリカランドが上昇した一方、エルドアン大統領が野党の主張する解散、総選挙に消極的な姿勢を示したことで、政治リスクの高まりが嫌気されたトルコリラが下落しました。

各ファンドの運用状況

５月のハッピーエイジング・ファンドは、相対的に内外株式の比率が高いハッピーエイジン 20～ハッピーエイジン 50 では絶対リターンがプラスとなった一方、相対的に国内債券の比率が高いハッピーエイジン 60 では絶対リターンがマイナスとなりました。
市場からのリターン（ベンチマークリターン）は、国内株式や外国株式が上昇した一方、国内債券が下落しました。その結果、相対的に内外株式の比率が高いハッピーエイジン 20～ハッピーエイジン 50 ではプラスとなった一方、相対的に国内債券の比率が高いハッピーエイジン 60 ではマイナスとなりました。
対ベンチマーク超過リターンは、ＳＪＡＭスモールキャップ・マザーファンドなどでマイナスとなったことを主因に、すべてのファンドでマイナスとなりました。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

国内株式

SJAM ラージキャップ・バリュー・マザーファンド（以下、LCV ファンド）、SJAM スモールキャップ・マザーファンド（以下、SC ファンド）ともに、TOPIX を下回りました。
LCV ファンドでは太陽誘電、八十二銀行、三井住友トラストグループのオーバーウェイトなどがプラス要因、オムロン、サワイグループホールディングス、キリンホールディングスなどがマイナス要因となりました。
SC ファンドでは、日本 M&A センターホールディングス、北洋銀行のオーバーウェイトなどがプラス要因、サワイグループホールディングス、セリアのオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。
先月は、LCV ファンドではサワイグループホールディングス、デンソー、SC ファンドでは日揮ホールディングス、アルフレッサホールディングスなどを購入し、LCV ファンドでは東レ、武田薬品工業、SC ファンドでは滋賀銀行、ほくほくフィナンシャルグループなどを売却しました。

外国株式

損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンドの月間騰落率は、ベンチマークであるＭＳＣＩコクサイ インデックスの月間騰落率を下回りました。主に、銘柄選択において、フィンテックソリューション会社のファイサーブのオーバーウェイトや、テクノロジー企業のエヌビディアのアンダーウェイトなどがマイナスに寄与しました。
当ファンドは、個別企業のファンダメンタルズ分析に注力している複数のストラテジーの投資比率を適宜調整し、いずれの景気局面においても恩恵を十分に受けうるポートフォリオの構築に努めています。セクター別では、ベンチマークに対して不動産セクターの保有割合を高めています。

（運用委託先からの情報を基に当社が作成）

国内債券

損保ジャパン日本債券マザーファンドの月間騰落率は、ベンチマークである NOMURA－BPI 総合指数の月間騰落率を下回りました。
金利戦略でのデュレーションの長期化がマイナスとなりました。
種別戦略、個別銘柄選択のパフォーマンスへの影響は限定的でした。

外国債券

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンドの月間騰落率は、ベンチマークである FTSE 世界国債インデックス（除＜日本、ヘッジなし・円ベース）の月間騰落率を上回りました。米ドルをアンダーウェイトし、メキシコ・ポーランド・ノルウェーの通貨をオーバーウェイトする戦略が主にプラス要因となりました。

＜国別配分戦略＞
米ドルの信認低下や米景気不安などから、米ドルは下落しやすいと考え、米ドルをアンダーウェイトし、メキシコ・ポーランド・ノルウェーの通貨をオーバーウェイトする戦略としました。
ユーロ圏において、関税による景気悪化懸念やボラティリティ上昇などから、ドイツとフランスの国債はイタリアとスペインの国債に対して選好されやすいと考え、ドイツとフランスをオーバーウェイトし、イタリアとスペインをアンダーウェイトする戦略としました。

＜残存期間戦略＞
米国については、関税による景気悪化懸念の一方、米国債の信認低下などから、米国金利は方向感に乏しいと考え、ニュートラルとしました。欧州については、ECB（欧州中央銀行）の利下げ観測やユーロ高・エネルギー価格下落によるディスインフレ（インフレ鎮静化）圧力などから、欧州金利は低下しやすいと考え、デュレーションの短期化を解消し、長期化しました。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

ファンドの特色

1 国内株式・国内債券にとどまらず世界各国の株式及び債券に積極的に分散投資を行うことによって、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

投資対象資産	投資対象とするマザーファンド等
国内株式	ＳＪＡＭラージキャップ・バリュー・マザーファンド、ＳＪＡＭスモールキャップ・マザーファンド
国内債券	損保ジャパン日本債券マザーファンド
外国債券	損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド
外国株式	損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド
エマージング株式	エマージング株式またはエマージング株式を主要投資対象とする証券投資信託

2 長期的な視点から基準資産配分比率を決定し、当該比率をめどに投資を行います。基準資産配分比率は、次の手順で決定、見直しを行います。

1. 長期的視点から、国内外の長期的な過去データに基づく分析と将来に対する見通しに基づいて、各資産毎の長期的期待収益率、標準偏差、相関係数等を予測します。
2. 予測した各数値を基に、各ファンドの最適な資産配分比率を求め、基準資産配分比率とします。経済情勢の変化等により長期的に市場環境に大きな影響があると判断した場合には、基準資産配分比率の見直しを行います。

3 各ファンドの特徴は、以下のとおりです。

ハッピーエイジング20	国内外の株式の基準組入比率を90%とするファンドです。 リスクを積極的にとりながら資産の大きな成長を目指します。５つのファンドの中では最もリスクが高く、投資期間が長く積極的運用をお考えの方に適したファンドです。
ハッピーエイジング30	国内外の株式の基準組入比率を70%とするファンドです。 ５つのファンドの中では比較的高いリスクをとり適度に高い収益を目指します。資産の成長性を重視した運用をお考えの方に適したファンドです。
ハッピーエイジング40	国内外の株式の基準組入比率を50%とするファンドです。 ５つのファンドの中では、リスクのレベルは中位に位置し、リスク・リターンのバランスを重視した運用を目指します。積極性と安定性とのバランスのとれた運用をお考えの方に適したファンドです。
ハッピーエイジング50	国内外の株式の基準組入比率を30%とするファンドです。 ５つのファンドの中では比較的低位にリスクを設定し安定した運用を目指します。安定性に重点を置きつつ適度の収益性をも考慮した運用をお考えの方に適したファンドです。
ハッピーエイジング60	国内外の株式の基準組入比率を10%とするファンドです。 ５つのファンドの中では最もリスクを抑え、より安定した運用を目指します。投資期間が比較的短く安定性を重視した運用をお考えの方に適しています。

4 投資目的、投資期間、リスク許容度等に応じて、リスク水準の異なる５種類のファンドからご選択いただけます。
●ハッピーエイジング２０が、最も積極的（高リスク）運用を行うファンドで、ハッピーエイジング６０が、最も安定的（低リスク）運用を行うファンドです。

5 各ファンドの運用は、以下の個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均したものを総合ベンチマークとし、これを上回る運用成果を目指します。

資産	ベンチマーク
国内株式	東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）
国内債券	ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ総合指数
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
外国株式	ＭＳＣＩコクサイ　インデックス（円換算ベース）
エマージング株式	ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）
短期資産	有担コール翌日物

- 東証株価指数（TOPIX）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。
- NOMURA－BPI総合指数とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表している、日本の公募債券流通市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づき構成されたポートフォリオのパフォーマンスをもとに計算されます。なお、NOMURA-BPI総合指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。
- FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- MSCIコクサイ　インデックスとは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数です。MSCIコクサイ　インデックス（円換算ベース）は、MSCIコクサイ　インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。なお、MSCIIndexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
- MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数です。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

投資リスク

《基準価額の変動要因》

各ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属いたします。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。
各ファンドの主なリスクは以下のとおりです。
※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

◆資産配分のリスク
各ファンドの基準資産配分比率が収益の源泉となる場合もありますが、配分比率が高い資産の価格が下落した場合等には株式、債券市場全体やベンチマークの収益率を下回ることがあります。

◆価格変動リスク
株式や公社債の価格は、国内外の政治・経済情勢、市況等の影響を受けて変動します。
また、一般に、金利が上昇すると、公社債の価格は下落します。組入れている株式や公社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆信用リスク
株式や公社債の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれらに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。組入れている株式や公社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
また発行体の倒産や債務不履行等の場合は、株式や公社債の価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆流動性リスク
国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆為替変動リスク
外貨建資産の価格は、当該外貨と日本円との間の為替レートの変動の影響を受けて変動します。
為替レートは、各国の政治・経済情勢、外国為替市場の需給、金利変動その他の要因により、短期間に大幅に変動することがあります。当該外貨の為替レートが、円高になった場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

《その他の留意点》

◆ クーリングオフ制度（金融商品取引法第37条の6）の適用はありません。

◆ 大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込の受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

◆ 収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。収益分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、収益分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

◆ マザーファンドに投資する別のベビーファンドの追加設定・解約等により、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、当ファンドの基準価額が影響を受ける場合があります。

◆ ファンドとベンチマークは組入銘柄や国別配分比率が異なることがあり、ファンドの運用成績はベンチマークを下回る場合があります。

詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金請求受付日から起算して、原則として5営業日目からお支払いします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所、英国証券取引所、フランクフルト証券取引所、パリ証券取引所のいずれかの取引所あるいはニューヨークまたはロンドンの銀行の休業日においては、お申込みの受付はできません。
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。 ※ 受付時間については販売会社により異なる場合があります。詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。
購入・換金 申込受付の中止 及び取消し	委託会社は、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、取引市場における流動性が極端に減少した場合、取引市場の混乱、自然災害、テロ、大規模停電、システム障害等により基準価額の算出が困難となった場合、その他やむを得ない事情があると判断したときは、購入・換金の受付を中止すること、及び既に受付けた当該申込みの受付を取り消すことができるものとします。
信託期間	無期限（設定日　2000年7月31日）
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が１億口を下回ることとなった場合、繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、繰上償還させることがあります。
決算日	原則7月15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時（年1回）、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※ 各ファンドは分配金を再投資する自動けいぞく投資コースのみとなります。
信託金の限度額	各ファンド2,000億円
公告	委託会社のホームページ（https://www.sompo-am.co.jp/）に掲載します。
運用報告書	原則、毎決算時及び償還時に、交付運用報告書を作成し、あらかじめお申し出いただいたご住所に販売会社を通じて交付します。
課税関係	● 課税上は株式投資信託として取扱われます。 ● 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象となります。 ハッピーエイジング20、30および40は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」および「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象です。 ハッピーエイジング50および60は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象です。 ただし、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ● 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

●税金

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金（解約）時 及び償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」をご利用の場合
毎年、一定額を上限として、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、税法上の要件を満たした商品を購入した場合に限り、非課税の適用を受けることができます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 確定拠出年金法に定める加入者等の運用の指図に基づいて購入の申込みを行う資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。

※ 法人の場合は上記とは異なります。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入価額に2.2%（税抜2.0%）を上限として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。	販売会社によるファンドの商品説明・投資環境の説明・事務処理等の対価
信託財産留保額	ありません。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	各ファンドの日々の純資産総額に対して以下の率を乗じた額です。 運用管理費用（信託報酬）は、毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。	運用管理費用（信託報酬）＝運用期間中の基準価額×信託報酬率

ファンド名	信託報酬率（年率）	内訳（税抜 年率）		
		委託会社	販売会社	受託会社
ハッピーエイジング20	1.617%（税抜1.470%）	0.59%	0.83%	0.05%
ハッピーエイジング30	1.485%（税抜1.350%）	0.53%	0.77%	0.05%
ハッピーエイジング40	1.320%（税抜1.200%）	0.47%	0.68%	0.05%
ハッピーエイジング50	1.133%（税抜1.030%）	0.41%	0.57%	0.05%
ハッピーエイジング60	0.946%（税抜0.860%）	0.35%	0.46%	0.05%

運用管理費用（信託報酬）を対価とする役務の内容

委託会社	ファンドの運用の対価
販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価

※ 委託会社の報酬には、損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンドの運用の指図に関する権限を委託したTCWへの投資顧問報酬が含まれます。投資顧問報酬の額は、各ファンドの純資産総額に当該計算期間を通じて毎日、年0.082%以内の率を乗じて得た金額とします。〔ファンドの運用の対価〕

その他の費用・手数料	以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。 ・監査費用 ・売買委託手数料 ・外国における資産の保管等に要する費用 ・信託財産に関する租税　等 ※ 上記の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。	・監査費用： 監査法人に支払うファンド監査にかかる費用 ・売買委託手数料： 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 ・保管費用： 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用

● 当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

●委託会社・その他の関係法人

委託会社	ファンドの運用の指図を行います。 ＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者（関東財務局長（金商）第351号） 加入協会　一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 ホームページ　：　https://www.sompo-am.co.jp/ 電話番号　　：　0120-69-5432　●リテール営業部
受託会社	ファンドの財産の保管及び管理を行います。 みずほ信託銀行株式会社
販売会社	受益権の募集の取扱、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

●「ハッピーエイジング・ファンド」受賞歴

| LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2025

●最優秀ファンド賞（投資信託部門）

ミックスアセット　日本円　積極型（評価期間：3年、5年）
「ハッピーエイジング20」

| Ｒ＆Ｉファンド大賞2025年

●投資信託 バランス型（株式・REIT中心）部門『最優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング20」

●投資信託 バランス型（株式・REIT中心）部門『優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング30」

●投資信託 バランス型（標準）部門『最優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング40」

| Ｒ＆Ｉファンド大賞2024年

●投資信託 バランス型（株式・REIT中心）部門『最優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング20」

●投資信託 バランス型（株式・REIT中心）部門『優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング30」

●投資信託 バランス型（標準）部門『最優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング40」

●投資信託 バランス型（債券中心）部門『優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング50」

| Ｒ＆Ｉファンド大賞2023年

●投資信託 バランス型（株式・REIT中心）部門『最優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング20」

●投資信託 バランス型（株式・REIT中心）部門『優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング30」

●投資信託 バランス型（標準）部門『最優秀ファンド賞』

●委託会社受賞歴

| 当社はLSEGリッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2025の「投資信託 ミックスアセット部門」において「最優秀会社賞」を受賞しました。

| 当社はＲ＆Ｉファンド大賞2018の「投資信託／総合部門」においてバランス総合「最優秀賞」を受賞しました。

LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating （リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。LSEG Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

「Ｒ＆Ｉファンド大賞」は、R&Ｉが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきＲ＆Ｉが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第２９９条第１項第２８号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はＲ＆Ｉに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。
「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

SOMPO

●販売会社（順不同、○は加入協会を表す）

販売会社名	区分	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会	備考
株式会社ＳＢＩ証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○		
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○	※３
損保ジャパンＤＣ証券株式会社 （確定拠出年金専用）	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第106号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	
静岡東海証券株式会社 ※ハッピーエイジング20/30/40のみのお取扱いとなります。	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第8号	○				
丸八証券株式会社 ※ハッピーエイジング20/30/40のみのお取扱いとなります。	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○				
三津井証券株式会社 ※ハッピーエイジング20/30/40のみのお取扱いとなります。	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第14号	○				
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○		
大熊本証券株式会社 ※ハッピーエイジング20/30/40のみのお取扱いとなります。	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第1号	○				
株式会社北海道銀行 ※ハッピーエイジング20/30/40のみのお取扱いとなります。	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○		
株式会社大東銀行 ※ハッピーエイジング40のみのお取扱いとなります。	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○				
株式会社みずほ銀行 （確定拠出年金専用）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○	
株式会社ＳＢＩ新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社ＳＢＩ証券、マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○		
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○				
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○				
損害保険ジャパン株式会社 （確定拠出年金専用）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第142号	○				

＜備考欄の表示について＞

※１　記載の日付より新規お取扱いを開始します。

※２　記載の日付以降の新規お取扱いを行いません。

※３　新規のお取扱いを行っておりません。

＜ご留意事項＞

・上記掲載の販売会社は、今後変更となる場合があります。

・上記掲載以外の販売会社において、お取扱いを行っている場合があります。

・詳細は販売会社または委託会社までお問い合わせください。

当資料のご利用にあたっての注意事項

◆ 当資料は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社により作成された販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当ファンドの購入のお申込みの際には販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。

◆ 当ファンドは、値動きのある証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。また、外貨建て資産に投資する場合には、為替リスクがあります。投資信託は、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

◆ 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

◆ 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

◆ 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。

◆ 当資料に記載されているグラフ・数値等は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。分配金に関しては、運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

◆ ファンドマネージャーのコメント、方針、その他の予測数値等については、作成時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等により、当該運用方針やその他予測数値等が変更される場合があります。また、記載した内容は、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

◆ 当資料に記載されている各数値は四捨五入して表示していることがありますので、誤差が生じている場合があります。

◆ 当資料に記載されている各事項につきましては、正確性を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。当資料に記載の当社の意見等は予告なく変更することがあります。